

令和5年2月13日

令和5年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第2期）
入学者選抜試験 陶芸

注意事項

- ・ 試験が終わるまで、携帯電話等の通信機器は電源を切って配布された封筒に入れること。
- ・ 写真撮影等、一切の記録を禁止します。
- ・ トイレに行く際は必ず受験票を携帯すること。
- ・ 与えられた問題用紙、草案用紙等は持ち帰らないこと。

令和5年2月13日

令和5年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第2期）
入学者選抜試験 陶芸

本日の試験は下記の時間割で行います。

■ 筆答試験 / 試験場（陶芸研究室）

10:00 ~ 11:15

◇ 昼食 / 試験場（陶芸研究室）

11:20 ~ 12:25

■ 実技試験 / 試験場（陶芸研究室）

12:30 ~ 14:30

令和5年2月13日

令和5年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第2期）
入学者選抜試験 陶芸

筆答試験

(10:00～11:15)

問題 1

以下の文章が説明している語句を解答用紙に答えなさい。

[1] 茶色、褐色、黒色の釉薬に呈色剤として使われ、仮焼して粉碎し鉄絵顔料としても使用される。鼠志野は施釉の前にこの鉱物と粘土を混ぜ化粧掛けしている。鉄分を多く含む褐鉄鉱で板状に硬く固まった状態で産出することが多い。

[2] 南米ブラジルやアフリカのジンバブエから輸入されるリチウムを多く含む鉱物。この材料を素地に約40%、釉薬に60～70%程使用して低温で焼成すると低熱膨張性を有し、優れた耐熱衝撃性を持った耐熱陶器ができる。

[3] 渋紙製のチューブやゴム製のスポイトに泥漿や化粧土、釉薬を入れ、生素地または素焼き素地の上に絞り出しながら盛り線を施す装飾技法。中国では堆白線文・堆線文と呼ばれ、イギリスのスリップウェアでもよく使われる技法。

[4] 施釉陶磁器製造の工程のひとつで、成形素地の吸水性と強度を上げ、その後の加飾や施釉作業を容易にするために本焼き前に行う焼成。使用する胎土に合わせて700～1000℃程度で焼成する。素地中に残った水分または結晶水の除去や、570℃付近でおこる石英の膨張による素地の変化に対応して慎重に昇温する。

[5] 器物に藁を巻き付け焼成することで藁に含まれるアルカリ成分と胎土の鉄分が作用し、襷状に赤い斑紋があらわれる現象、または技法。本来は重ね焼きの際に器どうしが熔着しないように藁を巻いたところ偶然発色したものだが、後に意識的に装飾として用いられた。

[6] 1872年茨城県に生まれ1894年東京美術学校彫刻科を卒業し1904年に田端に三方に焚口を持つ倒炎式丸窯を築窯した。白磁・青磁・天目・彩磁など主に中国陶磁の釉薬技法を研究し、膨大な量の動植物を描いたスケッチやアール・ヌーヴォー様式を取り入れた形態・意匠の下図を残した事でも知られる。創案した文様を流麗に彫り出し釉下彩色して半透明の釉薬をかけ焼成した葆光彩磁と命名された柔らかな光で包まれたような優美な作品を生み出した。

[7] 茶懐石の中で亭主と客との間で盃を酌み交わす時に供されるもので、季節を生かした海の幸と山の幸を対角線上に二点盛り付けて出される料理、あるいは器。

[8] 1590年頃、現在の長崎県中央北部で施釉陶器の生産地として始まり、1610年頃には陶石が発見され磁器の生産を開始する。江戸時代に入ると日常使いの器である「くらわんか碗」や酒や醤油の輸出用容器である「コンプラ瓶」を大量生産した。近年は若手デザイナーによるデザイン製の高い商品開発にも力を注ぎ、現在でも日本の日常食器の約16%を生産している。「陶土屋」「型屋」「生地屋」「窯元」「商社」といった各専門業者が連携し生産する分業体制が高品質・大量生産を可能にしている窯業産地。

問題 2

以下に挙げた語句をそれぞれ説明しなさい。

[1] 民藝

[2] 岡部嶺男

[3] 織部焼

[4] ダンパー

問題 3

以下に挙げられた図版の作品について、それぞれ説明しなさい。

[1]

白楽茶碗 銘「不二山」

出典 日本陶磁大辞典
出版 株式会社角川書店

[2]

志野茶碗 銘「卯花壻」

出典 日本陶磁大辞典
出版 株式会社角川書店

[3]

大井戸茶碗「喜左衛門井戸」

出典 日本陶磁大辞典
出版 株式会社角川書店

問題 4

以下のキーワードの内から二つ以上選び自身の考えを 400 字以内で述べよ。

【伝統】 【クラフト】 【工芸】 【器】 【オブジェ】 【アート】

令和5年2月13日

令和5年度 東京藝術大学大学院美術研究科（修士課程・第2期）
入学者選抜試験 陶芸

実技試験

(12:30～14:30)

与えられた粘土8kg×2を1体ずつ用い、轆轤びきにより
張りのある大壺1つと大皿1つを八角亀板の上に制作しなさい。

注意事項

- * 受験票は受験番号札の横に置きなさい。
- * 別に用意された粘土（1kg）は八角亀板をとめるために使うこと。
- * 与えられた道具のみ使用すること。
- * 高台を削ることを前提に制作し、ひき終えたものは亀板から切り離すこと。
- * ひき終えたものは亀板ごと轆轤の天板からはずし、轆轤の横に置きなさい。